

平成26年度 元気まつり守山 開催結果報告

平成26年9月28日(日)に開催された区民まつり「元気まつり守山」の開催結果を報告します。

大勢の方にご来場いただきました！

守山区民相互のふれあいと交流の場を提供し、地域に対する愛着心(ふるさと意識)を高めてもらえるような企画を盛り込み、心のぬくもりが感じられるまちづくりの一環として、守山区区民まつりを開催しています。

幅広い世代の皆様楽しんで参加していただき、「元気」をお持ち帰りいただけるよう、関係機関の協力を得ながら開催いたしました。

平成26年度は天候に恵まれ、前年を上回る来場者数となりました。

開催概要

平成26年度 元気まつり守山

＜日時＞平成26年9月28日(日)

10時から15時

＜場所＞三菱電機グラウンド(守山区小幡中二丁目)

＜天候＞晴れ

＜来場者数＞55,000人

＜主な内容＞あんまち広場(官公署ブース)、フリーマーケット、各種体験・参加型ワークショップ、フード村、模擬店、元気ステージ、わくわくエリア、スポーツエリア、被災地支援企画

＜主催＞守山区区民まつり実行委員会

＜事業協賛＞環境デーなごや実行委員会

＜企業協賛＞大日本印刷㈱、三菱電機㈱名古屋製作所、中日新聞守山販売店会、東海電業㈱、アサヒビール㈱名古屋工場、蔦井㈱、守山区社会福祉協議会、中部園芸㈱、㈱オオツカ、金城学院大学、㈱玉越、名古屋市守山区医師会、名進研小学校、(社)愛知県宅地建物取引業協会東尾張支部、㈱青柳総本家、大森電機㈱、菊華高等学校、グリーンシティケーブルテレビ㈱、紘仁病院、サンポッカサービス㈱、㈱JPN志段味スポーツランド、㈱田中葬具店、つばめ交通共同組合、同仁物産㈱、東春酒造㈱、中日本高速道路㈱名古屋保全サービスセンター、名古屋国際ホテル、名古屋自動車学校春日井校、名古屋市守山区歯科医師会、名古屋市守山区薬剤師会、(財)名古屋まちづくり公社、日本公文教育研究会 名古屋事務局、日本ゼネラルフード㈱、ポーラ ザ ビューティ千代田橋店、㈱保坂工業所、ホテルプラザ勝川、㈱松浦商店、守山商工会、㈱ルネサンス、和多ミート商会



各ステージ・コーナーの内容および特色

元気ステージ

金城学院 *Cheerlis*、守山東中学校吹奏楽部、守山北中学校吹奏楽部
守山区地域女性団体連絡協議会、*GOLD PANTHERS*
ウルトラマンギンガSショー

地元校や地元活動紹介のステージでは、大きな拍手が起きました。キャラクターショーは今回も子供たちに大人気でした。



わくわくエリア

チンジャオローズ（ギタートリオ弾き語り）、

モリシタマミ（ピアノでPOP弾き語り）、

古田律子（東北支援コンサート）、

Toppo（大道芸）、く〜り〜（大道芸）

守山区在住の歌手が出演したほか、アーティストによる弾き語りや子供たちに人気の「大道芸」など、誰もが楽しめる内容で大いに盛り上がりました。



守山ホームニュース提供

ワークショップ

暮らしのよろず情報局、DIYコーナー、歌と読み聞かせコーナー、
文化小劇場による手作りワークショップなど

参加・体験型コーナーを開設。様々な企画で来場者を引き付けていました。



スポーツエリア

運動・スポーツ(グラウンド・ゴルフ、キックターゲット、
ディスクドッジ)

名古屋グランパスの協力によるキックターゲット、誰でも気軽にできるディスクドッジ、グラウンド・ゴルフの三種を体験していただきました。



ちびっこエリア

フワフワ、ふれあい動物園

子どもに人気の遊具や動物園は大勢の家族連れで賑わいました。



あんまち広場

交通指導員、保護司会、保健所、環境事業所、土木事務所、警察署、消防署、上下水道局、交通局、自衛隊、中日本高速道路（株）官公署（所）を中心とした各ブースが創意と工夫を凝らして安心・安全で快適なまちづくり活動をPRしました。



被災地支援等

岩手県産（株）、みちのく屋（東北物産店）、社会福祉協議会など東北地方の物産展を開催したほか、赤い羽根共同募金の募集や歴史の里の紹介を行いました。



トクトクエリア・フードコーナーなど

朝市、フリーマーケット、フード村、模擬店

トクトクエリアでは地元野菜やフルーツなどの販売を、フードコーナーでは「食欲の秋」を、フリーマーケットは物を大切にする気持ちをお届けしました。



まとめ

天候に恵まれ、前年度を上回る5万5千人もの来場者にお越しいただきました。

「元気ステージ」では「区民が参加できるまつり」というコンセプトのもと地元で活動している方々にも多数ご出演いただき、ステージ周辺は身近な出演者を一目見ようと大勢の観客が集まりました。区内官公署によるあんまち広場では安心・安全で快適なまちづくり活動の啓発を行い、ワークショップでは区民の皆様が気軽に体験・参加できる内容を実施するなど、どのブースも工夫を凝らした内容となりました。平成23年度以降継続している東日本大震災被災地支援は今年も東北地方の物産の販売を行いました。また、志段味地区で整備が進む「歴史の里」のPRもありました。運営面では金城学院大学とのまちづくり連携協定にもとづいて学生の皆さんに会場スタッフとして協力していただきました。また、自転車での来場者が予想以上に多く、駐輪場が不足する中、昨年に引き続き蔦井株式会社様が企業ボランティアとしてボーイスカウト守山連絡協議会と協力して駐輪場運営をしていただいたおかげで、事故なく事業を行うことができました。このほか、会場周辺の警備増強や、警察との連携の強化により来場者による無断駐車も減少し、会場周辺で実行委員会の許可なく出店する方も出ませんでした。今後も様々な課題に対応できるよう努力してまいります。

ご来場いただきました皆様やご協賛いただいた企業様はじめ出店や運営にご協力いただきましたすべての方々に厚くお礼申し上げます。